

厚生労働省

平成30年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金社会福祉推進事業

「長期高年齢化する社会的孤立者(ひきこもり者)への
対応と予防のための「ひきこもり地域支援体制を
促進する家族支援の在り方に関する研究」

ひきこもりの実態に関する アンケート調査報告書 ～本人調査・家族調査・連携調査～

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

2019年 3月

目 次

はじめに	1
第一部 本人調査	2
1. 目的	
2. 調査方法	
3. 結果	
第二部 家族調査	31
1. 目的	
2. 調査方法	
3. 結果	
第三部 連携調査	65
1. 目的	
2. 調査方法	
3. 結果	
第四部 全体のまとめ	78
第五部 自由記述	91
おわりに	226
参考・引用文献	227

図表一覧

第一部 本人調査

- 図1-1 現在のひきこもり状態
- 図1-2 過去のひきこもり状態
- 図1-3 本人回答者の年齢
- 図1-4 本人回答者の性別
- 表1-1 本人回答者が住んでいる場所
- 図1-5 ひきこもり初発年齢
- 図1-6 ひきこもり期間
- 図1-7 ひきこもりの程度
- 図1-8 1ヶ月の平均外出日数
- 図1-9 支援・医療機関の利用状況
- 図1-10 支援・医療機関の利用の中断
- 図1-11 社会参加に対する困難感
- 図1-12 家族会への所属
- 図1-13 本人回答者の家族会所属支部（地方別）
- 図1-14 家族会への参加状況
- 図1-15 家族会への参加回数
- 図1-16 家族会に期待していたこと
- 図1-17 家族会で実際に得られたこと
- 図1-18 家族会と行政の連携の必要性
- 図1-19 家族会と連携してほしい行政機関
- 図1-20 家族会と連携ができていると思う行政機関
- 図1-21 連携ができているかわからない行政機関
- 図1-22 ここ2週間の悩みについて
- 図1-23 最近6カ月間の様子（1）
- 図1-24 最近6カ月間の様子（2）
- 図1-25 学校について
- 図1-26 仕事の有無
- 図1-27 労働日数
- 図1-28 労働時間
- 図1-29 就労形態
- 図1-30 家事について
- 図1-31 家事をした時間（平日）
- 図1-32 家事をした時間（休日）
- 図1-33 育児・介護について
- 図1-34 親しい人との対面会話

- 図1-35 親しい人との対面ではない会話
- 図1-36 親しくない人との会話
- 図1-37 誰かとの会話
- 図1-38 同居家族との不和（1）
- 図1-39 同居家族との不和（2）

第二部 家族調査

- 図2-1 現在のひきこもり状態
- 図2-2 過去のひきこもり状態
- 図2-3 家庭内でひきこもり状態にある方（過去含む）の人数
- 図2-4 ひきこもり初発年齢
- 図2-5 ひきこもり期間
- 図2-6 ひきこもりの程度
- 図2-7 1ヶ月の平均外出日数
- 表2-1 家族回答者が現在住んでいる都道府県
- 図2-8 家族回答者の続柄
- 図2-9 家族回答者の年齢
- 図2-10 ひきこもり本人の性別
- 図2-11 ひきこもり本人の年齢
- 図2-12 支援・医療機関の利用状況（本人）
- 図2-13 支援・医療機関の利用状況（家族）
- 図2-14 支援・医療機関の利用の中断（本人）
- 図2-15 支援・医療機関の利用の中断（家族）
- 図2-16 社会参加に対する困難感
- 図2-17 家族会への所属
- 表2-2 家族回答者のKHJ家族会への所属
- 図2-18 本人回答者の家族会所属支部（地方別）
- 図2-19 家族会への参加状況
- 図2-20 家族会への参加回数
- 図2-21 家族会に期待していたこと
- 図2-22 家族会で実際に得られたこと
- 図2-23 家族会と行政の連携の必要性
- 図2-24 家族会と連携してほしい行政機関
- 図2-25 家族会と連携ができていると思う行政機関
- 図2-26 存在を認知している行政機関
- 図2-27 医療機関の受診の必要（仮想上の例）
- 図2-28 仮想上の人物への対応

- 図 2 - 2 9 家族会への参加期間
- 図 2 - 3 0 年代
- 図 2 - 3 1 労働の週平均日数
- 図 2 - 3 2 1日あたりの労働時間
- 図 2 - 3 3 1日あたりの家事時間（平日）
- 図 2 - 3 4 1日あたりの家事時間（休日）
- 図 2 - 3 5 1日あたりの育児時間
- 図 2 - 3 6 1日あたりの介護時間
- 図 2 - 3 7 親しい人との対面会話
- 図 2 - 3 8 親しい人との対面ではない会話
- 図 2 - 3 9 親しくない人との会話
- 図 2 - 4 0 誰かとの会話
- 図 2 - 4 1 同居家族との不和（1）
- 図 2 - 4 2 同居家族との不和（2）
- 図 2 - 4 3 学校の卒業・在学の状況
- 図 2 - 4 4 本人の学校の登校日
- 図 2 - 4 5 学校を休んだ日数

第三部 連携調査

- 図 3 - 1 ひきこもり相談対応の有無
- 図 3 - 2 平成 29 年度中の相談件数
- 図 3 - 3 平成 29 年度中の相談件数の割合
- 図 3 - 4 転帰状況
- 図 3 - 5 訪問時の本人発見の有無
- 図 3 - 6 発見時の対応
- 図 3 - 7 家族会設置の有無
- 図 3 - 8 家族会の回数
- 図 3 - 9 家族会の運営方法
- 図 3 - 1 0 委託の理由
- 図 3 - 1 1 自治体内で設置されている家族会の把握状況
- 図 3 - 1 2 家族会との連携状況
- 図 3 - 1 3 家族会設置予定
- 図 3 - 1 4 家族会設置の予定年数
- 図 3 - 1 5 対応実践での困難

第四部 全体のまとめ

- 図4-1 ご本人の平均年齢の推移
- 図4-2 ご家族の平均年齢の推移
- 図4-3 平均ひきこもり期間の推移
- 図4-4 家族会参加への期待と実際（家族調査）
- 図4-5 家族会参加への期待と実際（本人調査）
- 図4-6 40歳以上の割合の推移
50歳以上の割合の推移
- 図4-7 ご本人の性別の割合（家族調査）
- 図4-8 ご本人の性別の割合（本人調査）
- 図4-9 ひきこもり期間（家族調査）
- 図4-10 ひきこもり期間（本人調査）
- 図4-11 自由に外出する（家族調査）
- 図4-12 自由に外出する（本人調査）
- 図4-13 対人交流が必要な場所に行く（家族調査）
- 図4-14 対人交流が必要な場所に行く（本人調査）
- 図4-15 対人交流が不要な場所に行く（家族調査）
- 図4-16 対人交流が不要な場所に行く（本人調査）
- 図4-17 家庭内では自由に行動（家族調査）
- 図4-18 家庭内では自由に行動（本人調査）
- 図4-19 家庭内で避けている場所あり（家族調査）
- 図4-20 家庭内で避けている場所あり（本人調査）
- 図4-21 自室に閉じこもる（家族調査）
- 図4-22 自室に閉じこもる（本人調査）
- 図4-23 ご本人の支援・医療機関利用の割合（家族調査）
- 図4-24 ご本人の支援・医療機関利用の割合（本人調査）
- 図4-25 ご本人の支援・医療機関利用の中断経験（家族調査）
- 図4-26 ご本人の支援・医療機関利用の割合（本人調査）
- 図4-27 ご本人の社会参加困難感（家族調査）
- 図4-28 ご本人の社会参加困難感（本人調査）

はじめに

本報告書の目的は、当会の支部に参加されている家族やひきこもり状態にある人に加えて、ひきこもり地域支援センターと生活困窮者自立支援相談窓口といった行政機関を対象として調査によって、家族会と行政機関の連携の現状を明らかにすることでした。

本年度の調査では、ご家族 304 名、ひきこもり経験者 52 名、さらに 602 の行政機関の協力が得られました。当会では、このような全国規模の調査を 16 年間に渡って実施しています。また、2019 年 3 月 29 日には内閣府は 40 歳から 64 歳でひきこもり状態にある人が 61.3 万人であることを公表しました。当会の調査と合わせて言えることは、ひきこもりは若者の就労問題ではなく、全世代の社会参加の問題なのだという事です。就学、就労だけではない、多様な社会参加が認められる地域共生社会の構築が、ひきこもりの支援、予防に効果的なのだと考えられます。

最後に、本調査の実施にご協力くださった KHJ 全国ひきこもり家族会連合会の各支部の会員の皆様、各支部の代表の方々に心より感謝を申し上げます。ご協力くださった皆様のご厚意を無駄にしないよう、本調査の結果を広く普及、活用していく所存です。

なお、本調査は、厚生労働省の平成 30 年度社会福祉推進事業「長期高年齢化する社会的孤立者(ひきこもり者)への対応と予防のための「ひきこもり地域支援体制を促進する家族支援」の在り方に関する研究」の助成を受けて実施することができました。ここに記して御礼申し上げます。

平成 31 年 3 月 吉日

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会
共同代表 伊藤 正俊

第1部 本人調査

1. 目的

本調査は、ひきこもり支援における家族会と行政の連携状況を明らかにすることを目的としています。

2. 調査方法

【 調査対象者 】

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会（以下、「家族会」とする）の支部が平成 30 年 11 月～平成 31 年 1 月に開催した月例会において調査を実施しました。月例会参加者のうち、調査協力の得られた 52 名の回答が分析に用いられました。

【 調査内容 】（注：調査内容の詳細は、巻末の資料を参照してください）

（1）基礎情報 本人調査に回答した方（以下、本人回答者）に関する以下の情報について回答を求めました。

- ・現在のひきこもり状態の有無
- ・過去のひきこもり状態の有無
- ・年齢
- ・性別
- ・現在住んでいる都道府県
- ・ひきこもりの期間
- ・現在のひきこもりの程度
- ・1ヶ月の平均外出日数

（2）支援・医療機関について

- ・支援・医療機関の利用経験の有無
- ・支援・医療機関利用の中断

（3）社会参加や職業について

- ・社会参加に関する困難感

（4）KHJ 家族会について

- ・家族会への所属
- ・家族会への参加状況
- ・家族会への参加回数

（5）家族会に求めていたことと得られたことについて

(6) 家族会と行政の連携について

- ・連携の必要性
- ・どのような連携を求めているか (自由記述)
- ・連携を求めている行政機関と連携の程度
- ・行政と連携する上での障害 (自由記述)

(7) ひきこもり長期化の理由について (自由記述)

(8) 支援を求めようと思わない理由について (自由記述)

(9) 悩みについて

(10) ここ 6 カ月間の様子について

(11) ここ 4 週間の生活について

- ・学校について
- ・仕事について
- ・家事について
- ・育児や介護について
- ・親しい人との関係について
- ・親しくない人との関係について
- ・会話の有無
- ・同居家族との不和について

(12) 望む支援について (自由記述)

【 調査手続き 】

調査の趣旨に関する文書を読んだ上で、調査協力に同意された方のみが調査用紙に回答をしました。調査の趣旨に関する文書は、調査用紙から切り離して、持ち帰っていただくように依頼しました。

回答者には、月例会において調査用紙と返信用封筒を配布し、返信用封筒に入れて郵送にて回収をしました。

結果

(1) 基礎情報

1. 現在のひきこもり状態の有無

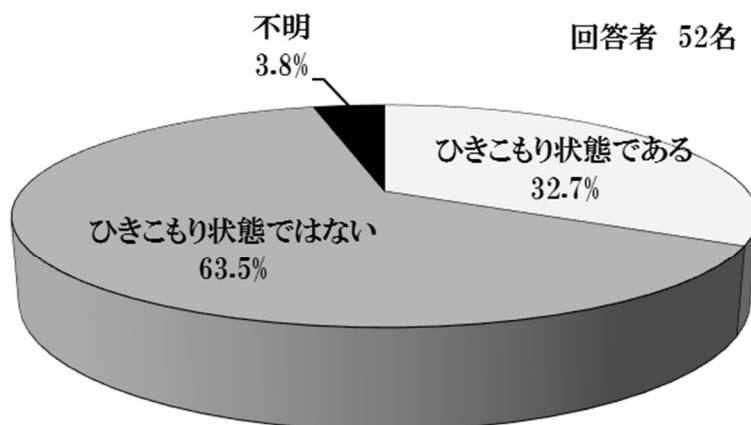


図1-1 ひきこもり状態の有無(現在)

図1-1に、本人回答者の現在のひきこもり状態について示しました。現在ひきこもり状態である方が32.7% (42.2%)、現在ひきこもり状態ではない方が63.5% (55.3%)、不明が3.8% (2.4%) でした (カッコ内は昨年度の値)。

2. 過去のひきこもり状態の有無

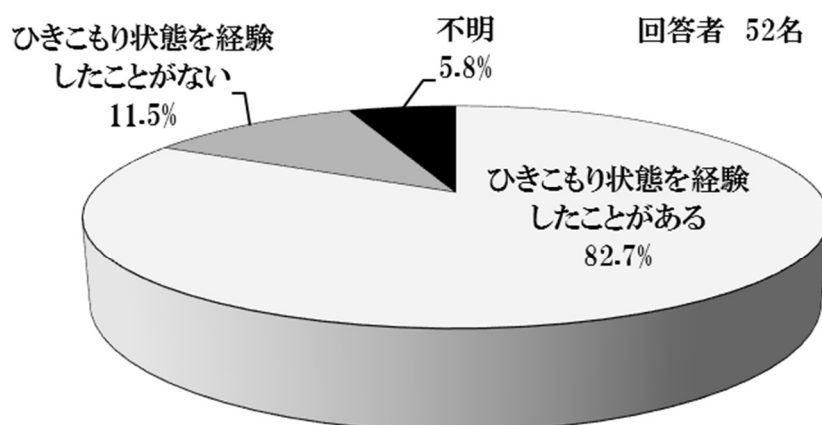


図1-2 ひきこもり状態の有無(過去)

図1-2に、本人回答者の過去のひきこもり状態について示しました。過去にひきこもり状態を経験したことがある方が82.7% (81.2%)、過去にひきこもり状態を経験したことがない方が11.5% (15.3%)、不明が5.8% (3.5%) でした (カッコ内は昨年度の値)。

3. 年齢

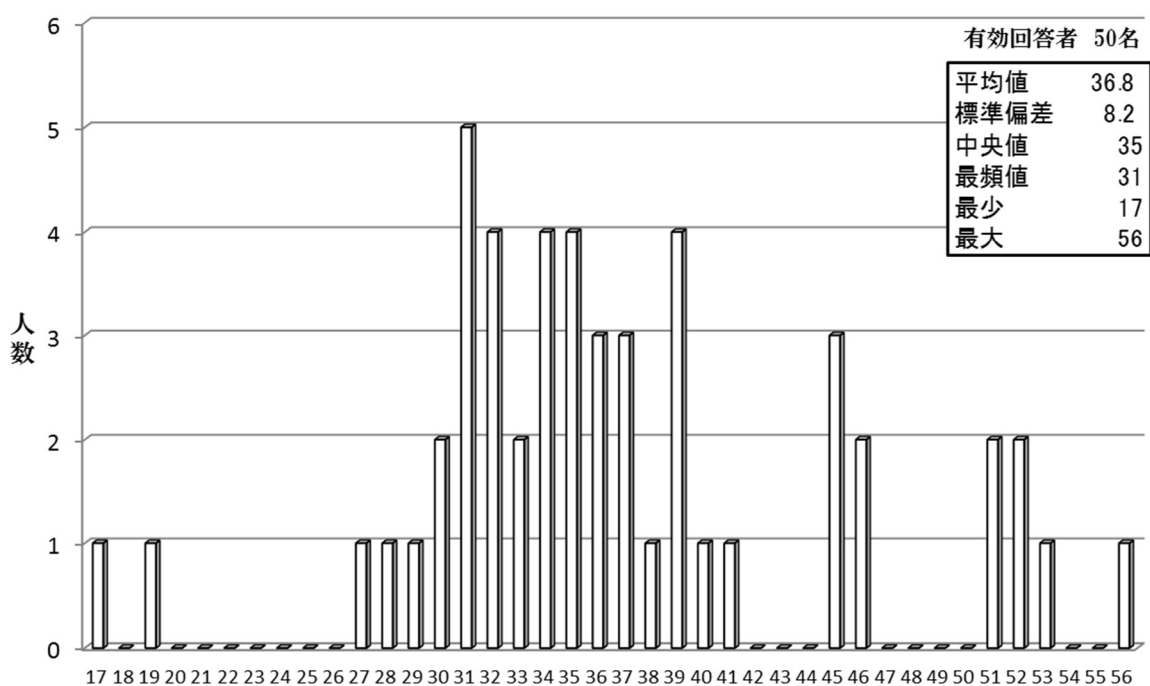


図1-3 本人回答者の年齢

図1-3のとおり、本人回答者の平均年齢は 36.8 ± 8.2 歳 (36.1 ± 8.0 歳) であり、最年少が17歳、最年長が56歳 (53歳) でした (カッコ内は昨年度の値)。

4. 性別

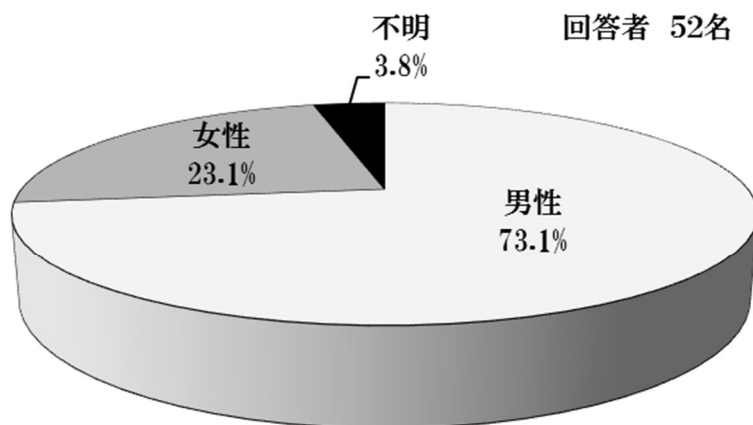


図1-4 本人回答者の性別

図1-5に本人回答者の性別を示しました。男性が73.1% (75.3%)、女性が23.1% (20.0%) でした (カッコ内は昨年度の値)。昨年の結果よりも女性回答者の割合が増えたことがわかります。

5. 本人回答者の住んでいる都道府県

表1-1 本人回答者の住んでいる都道府県

地方	都道府県	人数	地方	都道府県	人数
北海道	北海道	2	近畿地方	三重県	1
東北地方	青森県	2		大阪府	1
	宮城県	1	中国地方	岡山県	2
	秋田県	1		広島県	1
	山形県	5	四国地方	愛媛県	2
	福島県	1		高知県	2
関東地方	茨城県	1	九州地方	福岡県	1
	群馬県	1		宮崎県	4
	埼玉県	1		沖縄県	1
	千葉県	4	不明		3
	東京都	4	合計		52
	山梨県	1			
中部地方	新潟県	5			
	富山県	1			
	愛知県	4			

表1-1に示したとおり、本人回答者が住んでいる場所は24都道府県（20都道府県）に分布しています。各地方の割合としては、北海道・東北地方が24.5%（14.6%）、関東地方が22.4%（28.0%）、中部地方が22.4%（36.6%）、近畿地方が4.1%（1.2%）、中国地方が6.1%（4.9%）、四国地方が8.2%（12.2%）、九州地方が12.2%（2.4%）となっています（カッコ内は昨年度の値）。

6. ひきこもりの初発年齢

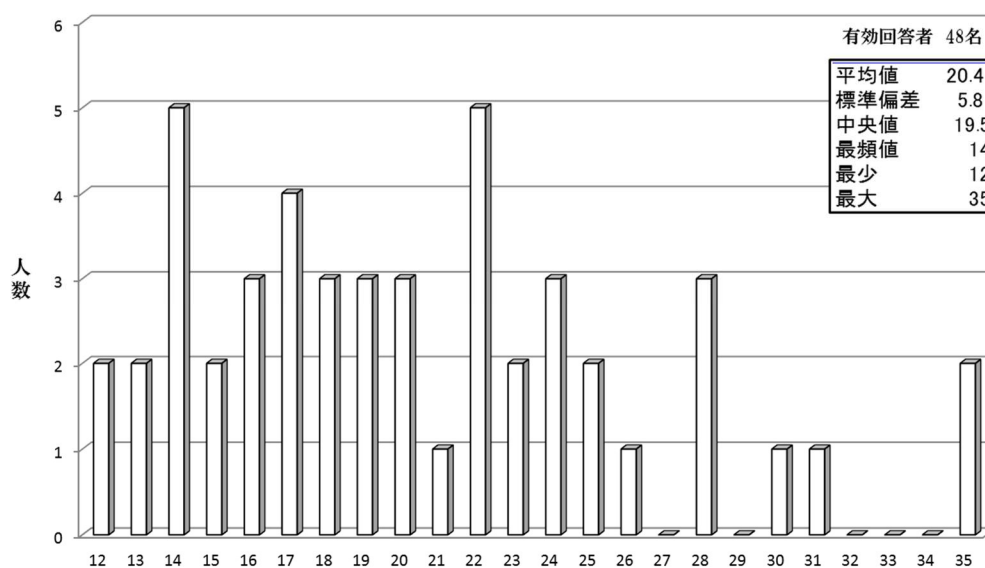


図1-5 ひきこもり初発年齢

図1-5のとおり、ひきこもりが始まった時期の平均年齢は、20.4歳（20.5歳）、最年少が12歳（10歳）、最年長が35歳（44歳）でした（カッコ内は昨年度の値）。半数以上の人々が20歳未満でひきこもり状態が生じていることが分かります。

7. ひきこもり期間

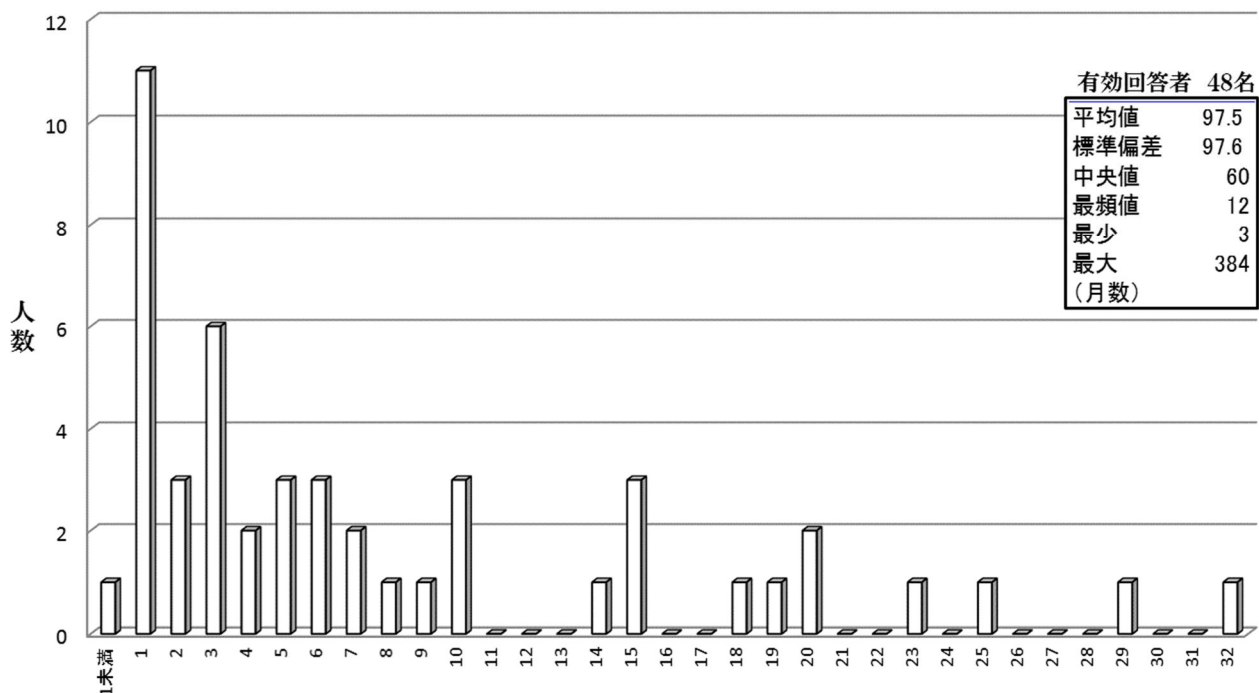


図1-6 ひきこもり期間(年)

図1-6に、ひきこもり期間について示しました。平均8.1年（7.2年）、最小が3ヶ月（2.5ヶ月）、最大は32年（36年）でした（カッコ内は昨年度の値）。

8. ひきこもりの程度

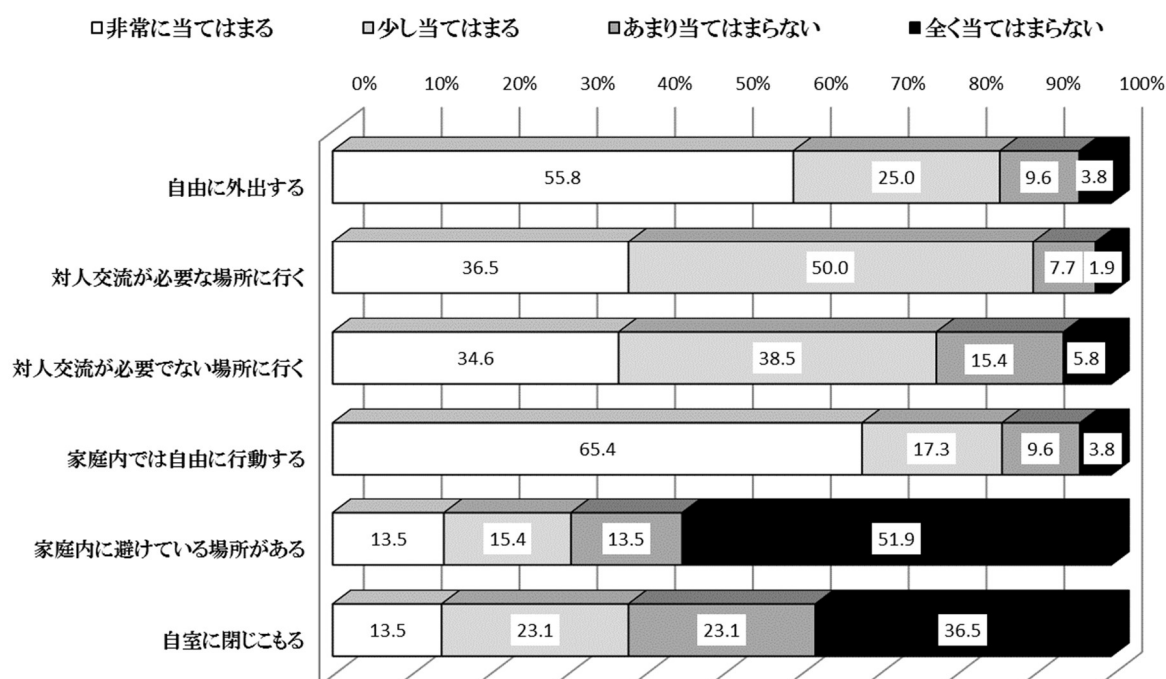


図1-7 ひきこもりの程度

図1-7のとおり、「対人交流が必要な場所に行く」について「非常に当てはまる」もしくは「少し当てはまる」と回答した方は86.5%（67.0%）と、昨年よりも高い値になりました。次に、「家庭内では自由に行動する」について「非常に当てはまる」もしくは「少し当てはまる」と回答した方は82.7%（89.4%）、と昨年よりも低い値になっています。「自由に外出する」について「非常に当てはまる」もしくは「少し当てはまる」と回答した方は80.8%（70.5%）、「対人交流が必要でない場所に行く」について「非常に当てはまる」もしくは「少し当てはまる」と回答した人は73.1%（67.0%）、また、「自室に閉じこもる」について「非常に当てはまる」もしくは「少し当てはまる」と回答した方は36.5%（34.2%）でした。「家庭内に避けている場所がある」について「非常に当てはまる」もしくは「少し当てはまる」と回答した方は昨年と同様に一番低い値となり36.5%（24.7%）でした（カッコ内は昨年度の値）。

9. 1ヶ月の平均外出日数

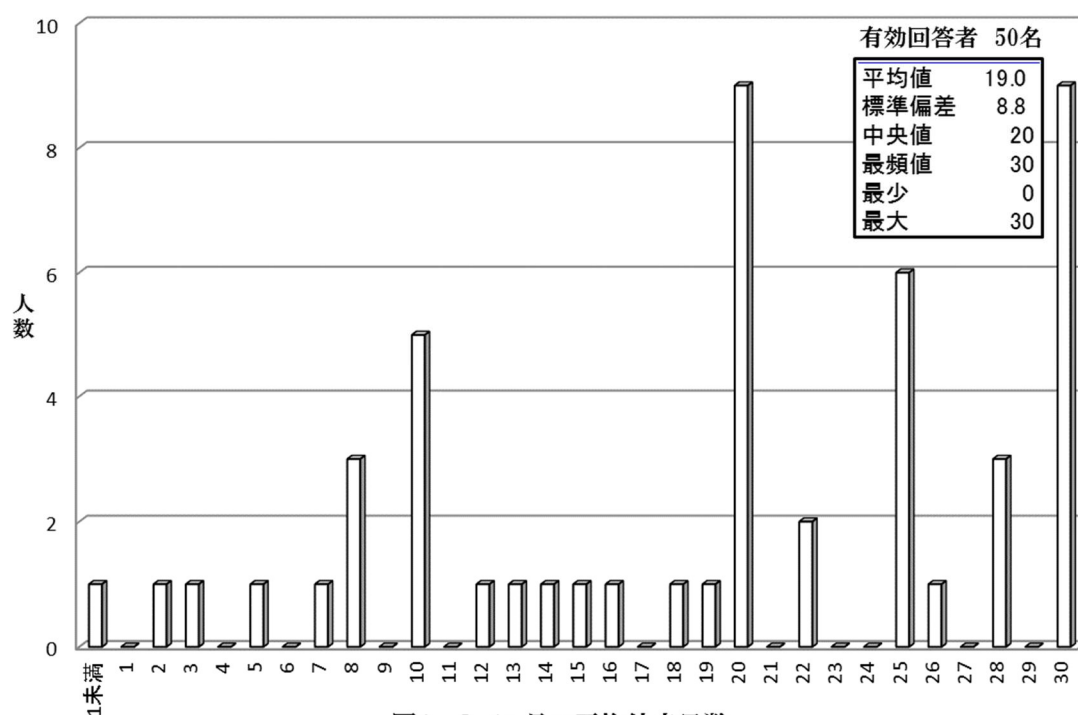


図1-8 1ヶ月の平均外出日数

図1-8に、本人回答者の1ヶ月の平均外出日数について示しました。「毎日」外出している場合、「31日」外出している場合は、「30日」として示しました。外出日数の平均は19.0日（15.6日）、最少は0日（0日）、最大は30日（30日）でした。昨年度よりも平均外出日数が高い値となりました（カッコ内は昨年度の値）。

(2) 支援・医療機関について
1. 支援・医療機関の利用状況

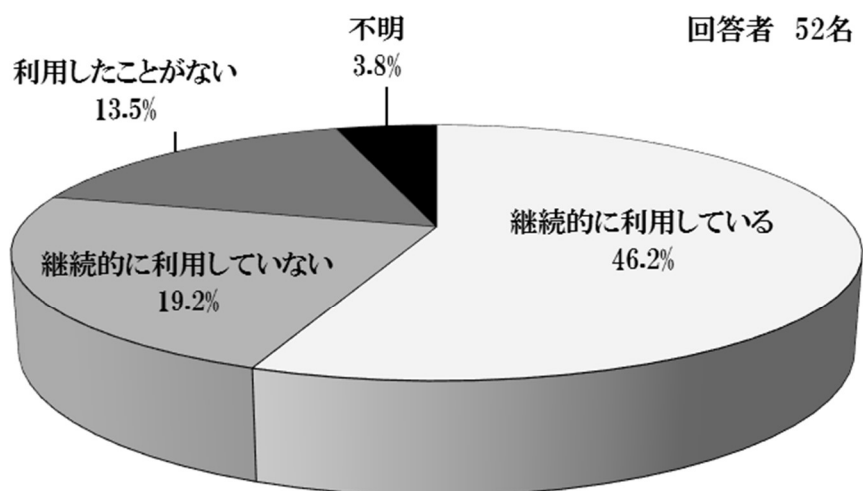


図1-9 支援・医療機関の利用状況

図1-9のとおり、支援・医療機関を継続的に利用している人が46.2% (56.3%)、利用したことがあるが継続的ではない人が19.2% (21.3%)、利用したことがない人が13.5% (17.5%) でした (カッコ内は昨年度の値)。

2. 支援・医療機関利用の中断

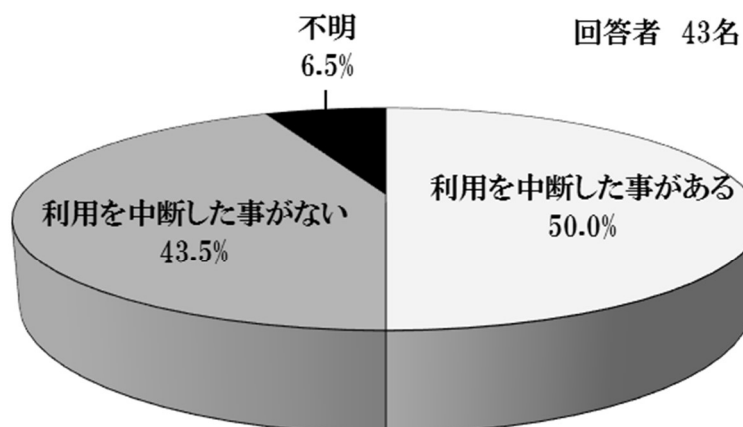
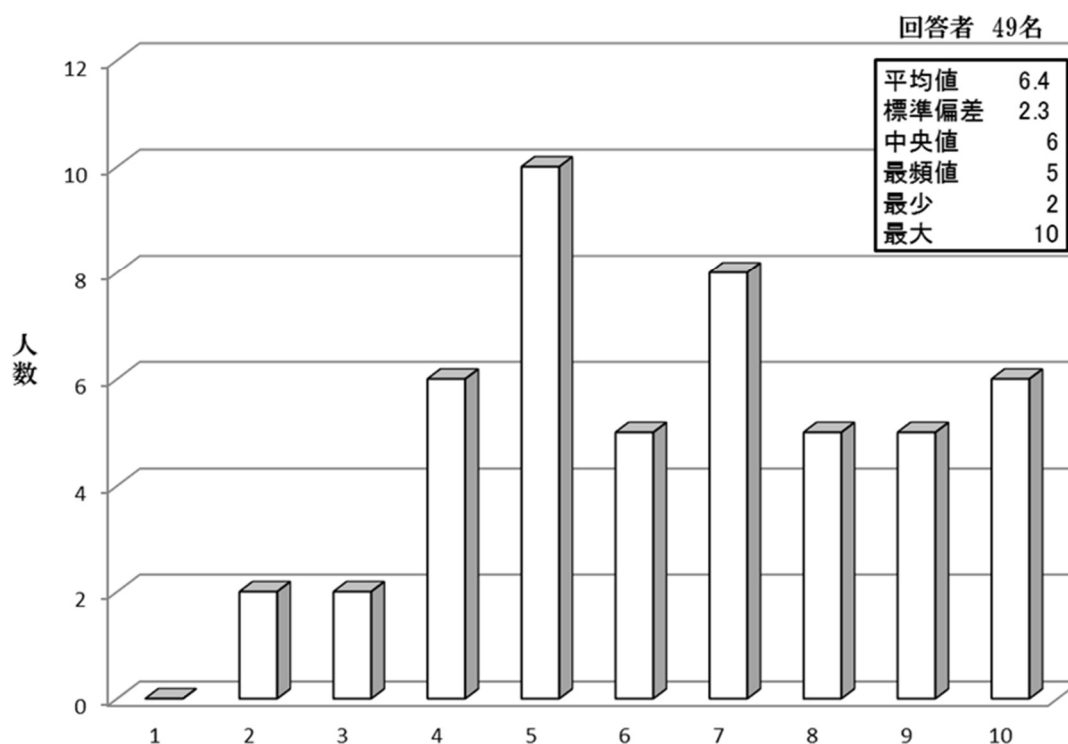


図1-10 支援・医療機関利用の中断

図1-10に支援・医療機関の利用を中断したことがあるかどうかについて示しました。支援・医療機関を利用したことがある人のうち、「支援・医療機関の利用を中断したことがある」と回答した方は50.0% (41.2%)、「支援・医療機関の利用を中断したことがない」と回答した方は43.5% (50.6%) でした (カッコ内は昨年度の値)。

(3) 社会参加や職業について
 1. 社会参加に対する困難感



←全く困難を感じていない 図1-11 社会参加に対する困難感 とても困難を感じている→

図1-11に社会参加に対する困難感について示しました。平均は10段階で6.4(7.5)でした。昨年度の調査よりもやや低めの値であることが分かります。3以下と回答した人は8.2%(8.8%)にとどまり、その一方で8以上と回答した人は32.7%(55.6%)でした。社会参加についてとても困難を感じている人がとても多いことが分かります(カッコ内は昨年度の値)。

(4) KHJ 家族会について
1. 家族会への所属

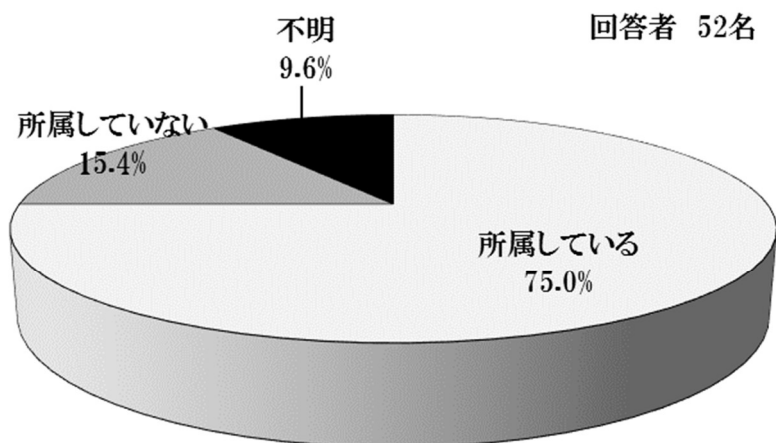


図1-12 家族会への所属

図1-12に家族会への所属の有無について示しました。「所属している」と回答した方が76.9% (62.4%)、「所属していない」と回答した方が15.4% (27.1%)、不明が7.7%でした。昨年度の値と比較すると「所属している」と回答した方の値はやや高くなっています(カッコ内は昨年度の値)。

2. 本人回答者の家族会所属支部

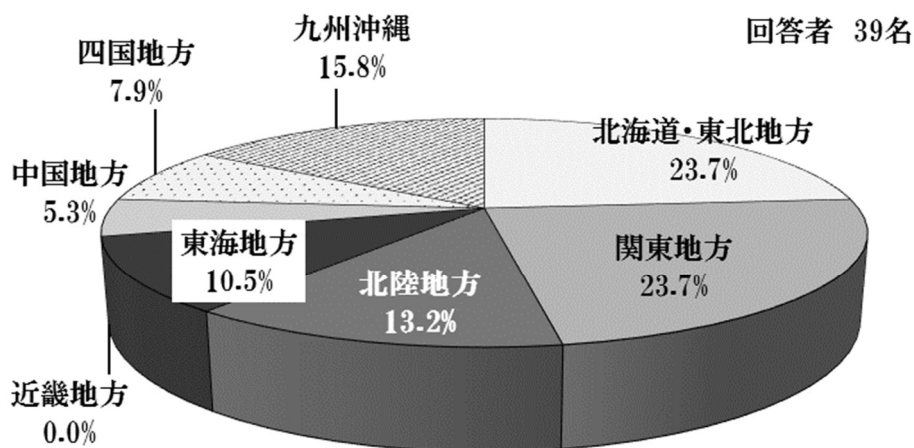


図1-13 家族会所属(地方別)

図1-13に本人回答者の家族会所属支部を地方別に示しました。今年度の調査では北海道・東北地方と関東地方の支部より、もっとも多く回答が得られました(ともに23.7%)。九州・沖縄地方(15.8%)北陸地方(13.2%)の支部からも多くの回答が得られました。

3. 家族会への参加状況

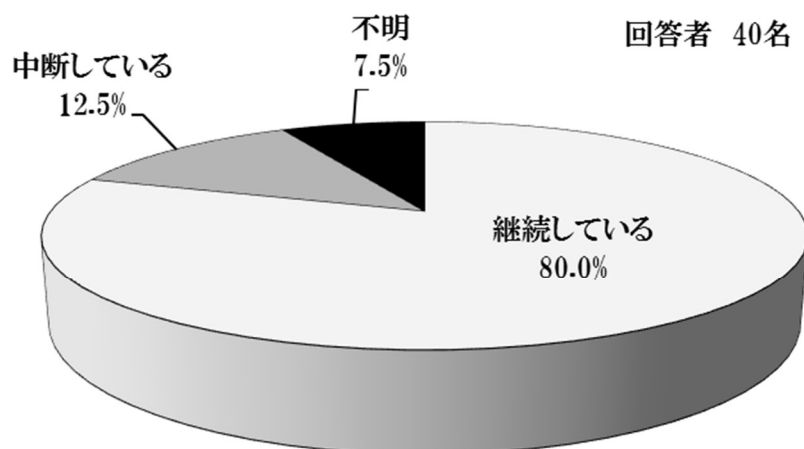


図1-14 家族会への参加状況

図1-14に家族会への参加状況について示しました。家族会に所属している回答者のうち、家族会を継続していると回答した方が80.0%（56.6%）、家族会を中断していると回答した方が12.5%（34.0%）でした（カッコ内は昨年度の値）。

4. 家族会への参加回数

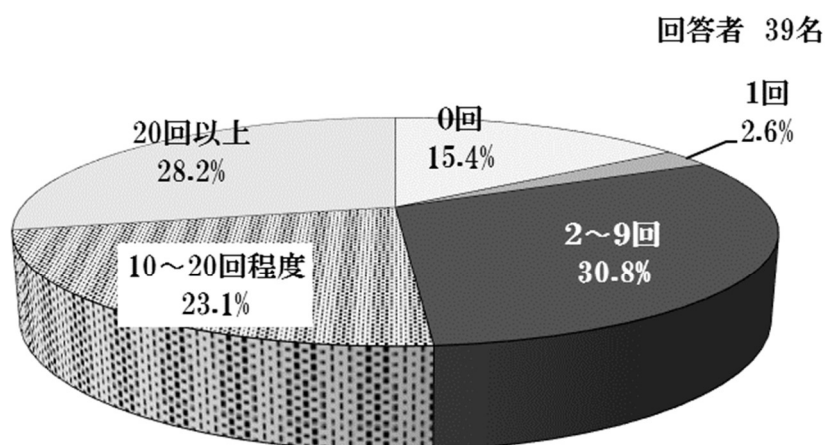


図1-15 家族会への参加回数

図1-15に家族会への参加回数について示しました。回答が得られた方のうち、2～9回と回答した方が最も多く30.8%でした。次に20回以上と回答した方が28.2%、10～20回程度と回答した方が23.1%でした。家族会に入会しているが一度も家族会に参加したことがないと回答した方は15.4%でした。

5. 家族会に求めていたこと

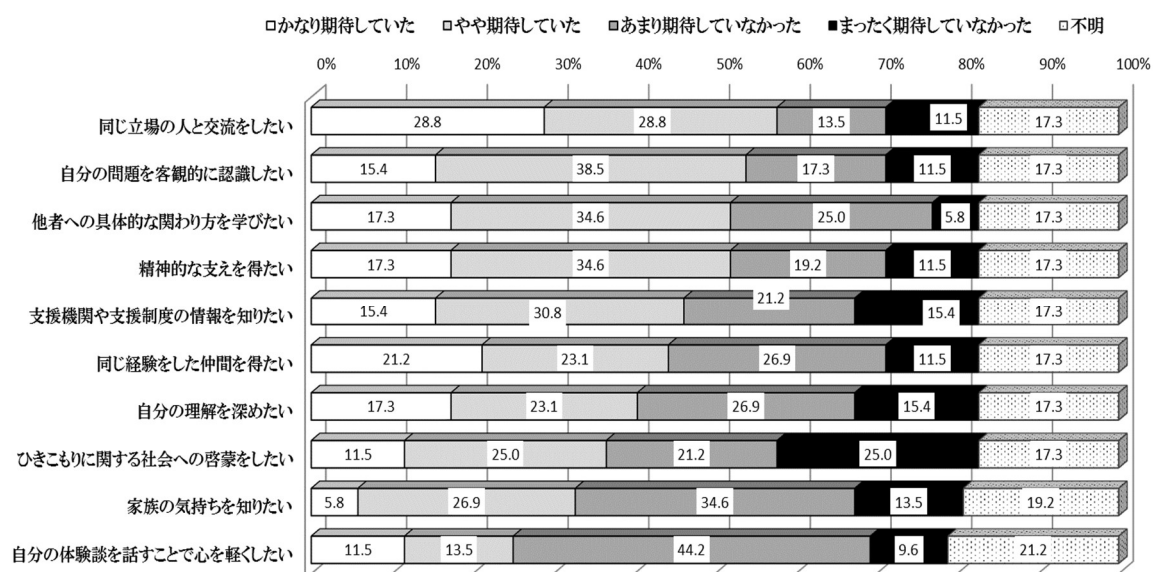


図1-16 家族会に期待していたこと

図1-16に、回答者が初めて家族会に参加した時に「家族会」に求めていること（期待）について示しました。

「同じ立場の人と交流したい」について「かなり期待していた」もしくは「やや期待していた」と回答した方が最も多く57.7%でした。次に「自分の問題を客観的に認識したい」について「かなり期待していた」もしくは「やや期待していた」と回答した方が53.8%でした。「他者への具体的な関わり方を学びたい」と「精神的な支えを得たい」について「かなり期待していた」もしくは「やや期待していた」と回答した方が同様に51.9%でした。半数以上の方が、これらの4項目について期待していたことがわかります。

一方で、「自分の体験談を話すことで、心を軽くしたい」について「かなり期待していた」もしくは「やや期待していた」と回答した方は25.0%と最も低い値となりました。

6. 家族会に参加して実際に得られたこと

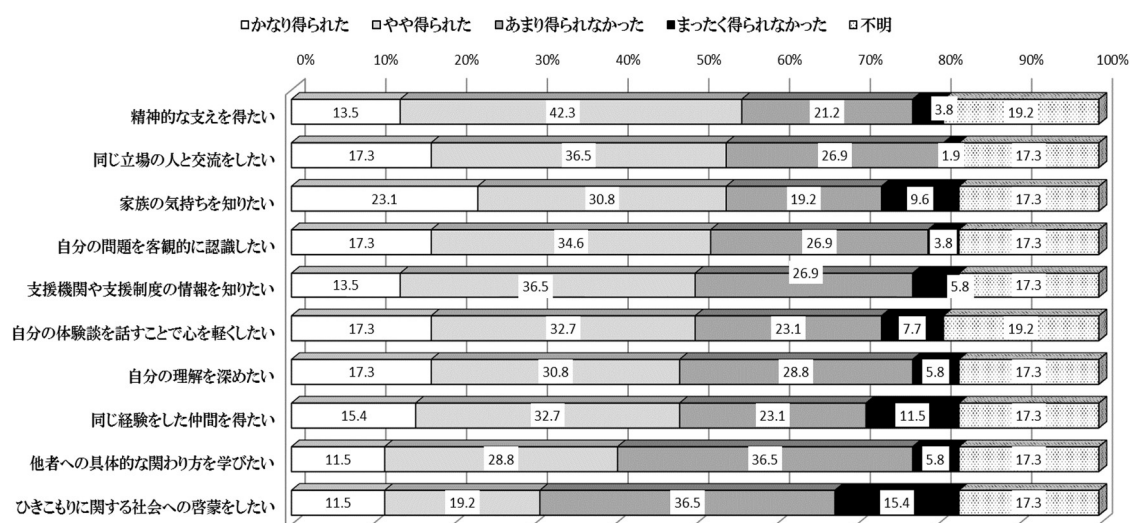


図1-17 家族会で実際に得られたこと

図1-17に、家族会に参加して実際に得られたと知っていることについて示しました。

「精神的な支えを得たい」について「かなり得られた」もしくは「やや得られた」と回答した方がもっとも多く55.8%でした。次に「同じ立場の人と交流をしたい」と「家族の気持ちを知りたい」について「かなり得られた」もしくは「やや得られた」と回答した方が同様に53.8%でした。「自分の問題を客観的に認識したい」について「かなり得られた」もしくは「やや得られた」と回答した方が51.9%、「支援機関や支援制度の情報を知りたい」と「自分の体験談を話すことで、心を軽くしたい」について「かなり得られた」もしくは「やや得られた」と回答した方は同様に50.0%でした。

「自分の体験談を話すことで、心を軽くしたい」について、期待していた人よりも実際に得られたと感じた人たちが多くわかります。

(5) 家族会と行政の連携について

1. 家族会と行政の連携の必要性について

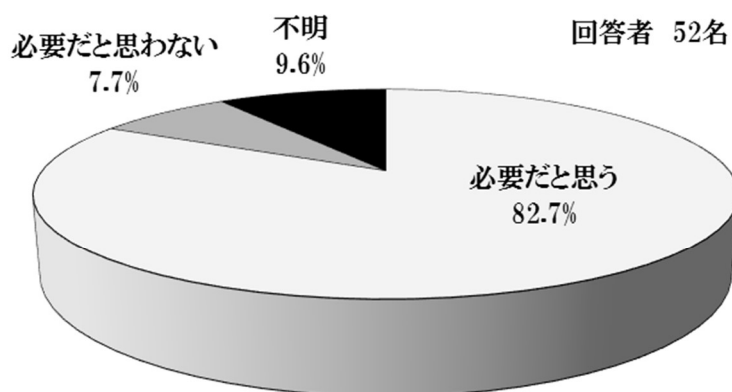


図1-18 家族会と行政の連携の必要性について

図1-18に本人回答者が、家族会と行政の連携が必要と思うかについて示しました。「必要だと思う」と回答した方が82.7%、「必要だと思わない」と回答した方が7.7%でした。ほとんどの回答者が家族会と行政との連携は必要だと思っていることがわかります。

2. 連携を求める行政機関

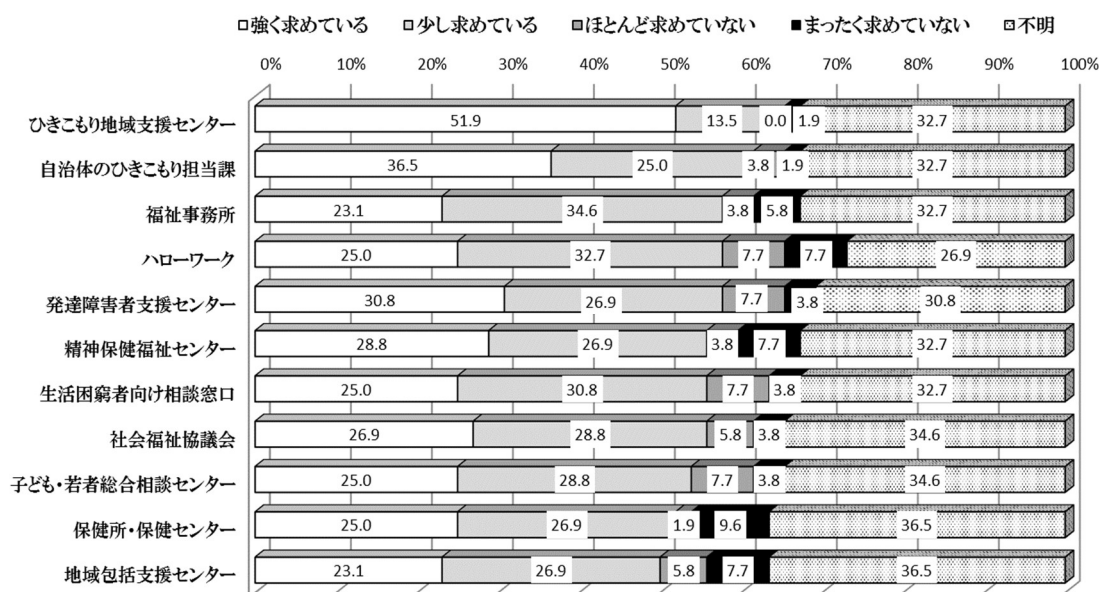


図1-19 家族会と連携してほしい行政機関

図1-19に、家族会と行政の連携が必要だと回答した場合、どのような行政機関との連携を求めているかについて示しました。

半数以上の方が、図に記したすべての行政機関との連携について「強く求めている」もしくは「少し求めている」と回答しました。中でも、ひきこもり地域支援センターとの連携について「強く求めている」もしくは「少し求めている」と回答した方がもっとも多く65.4%でした。次に、自治体のひきこもり担当課との連携について「強く求めている」もしくは「少し求めている」と回答した方が多く、61.5%でした。福祉事務所、ハローワーク、発達障害者支援センターとの連携について「強く求めている」もしくは「少し求めている」と回答した方が同率で57.7%でした。

3. 連携ができていない程度について

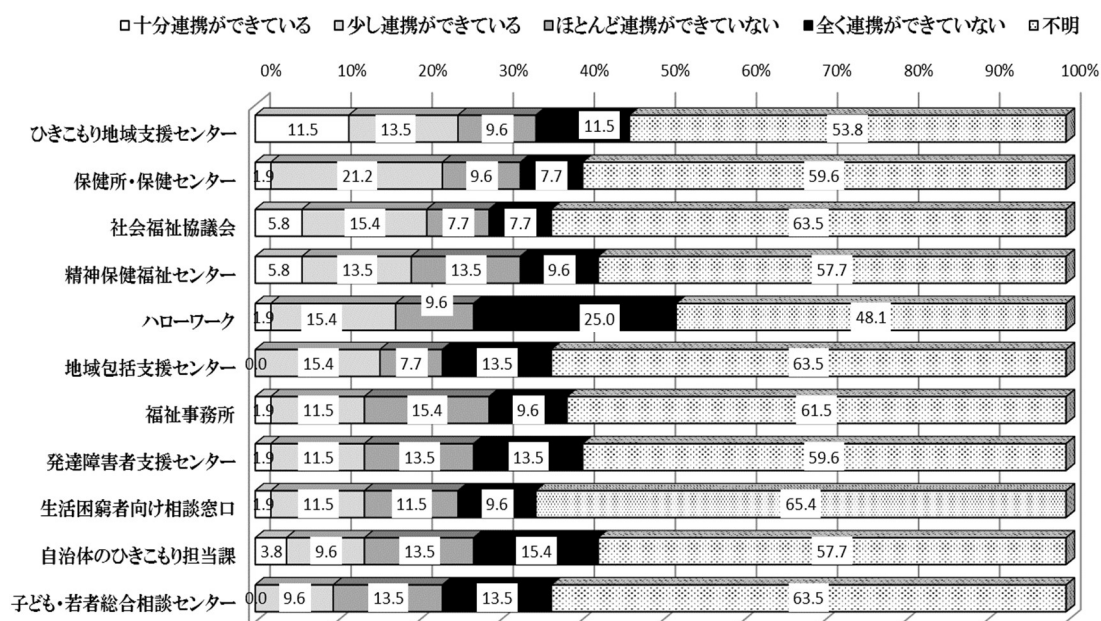


図1-20 家族会と連携ができていないと思う行政機関

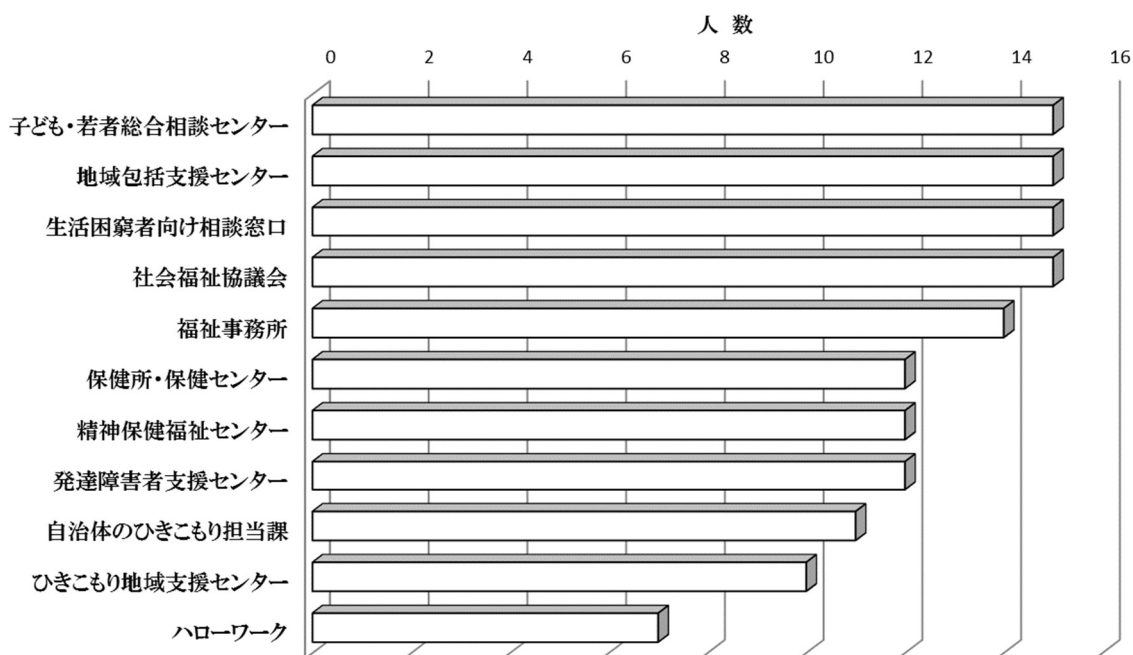


図1-21 連携ができていないかわからない

図1-20に家族会とそれぞれの行政機関がどの程度連携できているかについて示しました。図1-21のとおり、家族会とそれぞれの行政機関が連携できているかわからないと回答の方が目立ちました。

ひきこもり地域支援センターとの連携について「十分連携できている」もしくは「少し連携できている」と回答した方は**25.0%**でした。一方「ほとんど連携できていない」もしくは「全く連携できていない」と回答した方は**21.2%**でした。ハローワークとの連携について「十分連携できている」もしくは「少し連携できている」と回答した方は**17.3%**、「ほとんど連携できていない」もしくは「全く連携できていない」と回答した方は**34.6%**でした。

行政機関との連携を求めている人が多い一方で、連携ができているという実感はなかなか得られていないことがわかります。

(6) 悩みについて

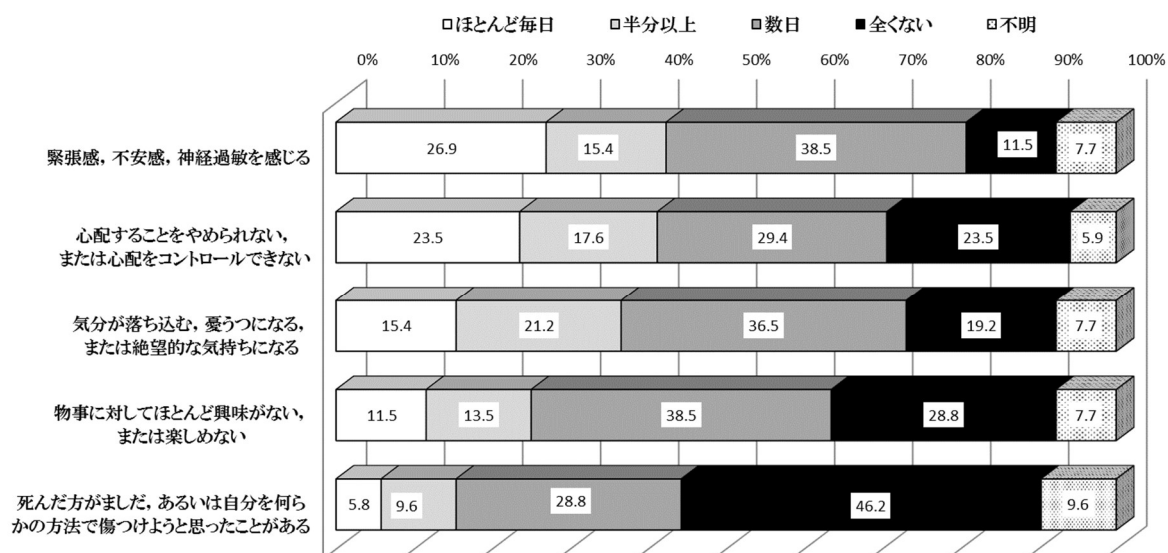


図1-22 ここ2週間の悩みについて

図1-22に、本人回答者のここ2週間の悩みについて示しました。

「緊張感、不安感、または神経過敏を感じる」について「ほとんど毎日」もしくは「半分以上」と回答した方が**42.3%**でした。「心配することをやめられない、または心配をコントロールできない」について「ほとんど毎日」もしくは「半分以上」と回答した方は**41.2%**でした。「気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的な気持ちになる」について「ほとんど毎日」もしくは「半分以上」と回答した方が**36.5%**、「物事に対してほとんど興味がなく、または楽しめない」について「ほとんど毎日」もしくは「半分以上」と回答した方が**25.0%**、「死んだ方がましだ、あるいは自分を何らかの方法で傷つけようと思ったことがある」について「ほとんど毎日」もしくは「半分以上」と回答した方が**15.4%**でした。

(7) ここ6カ月間の様子について

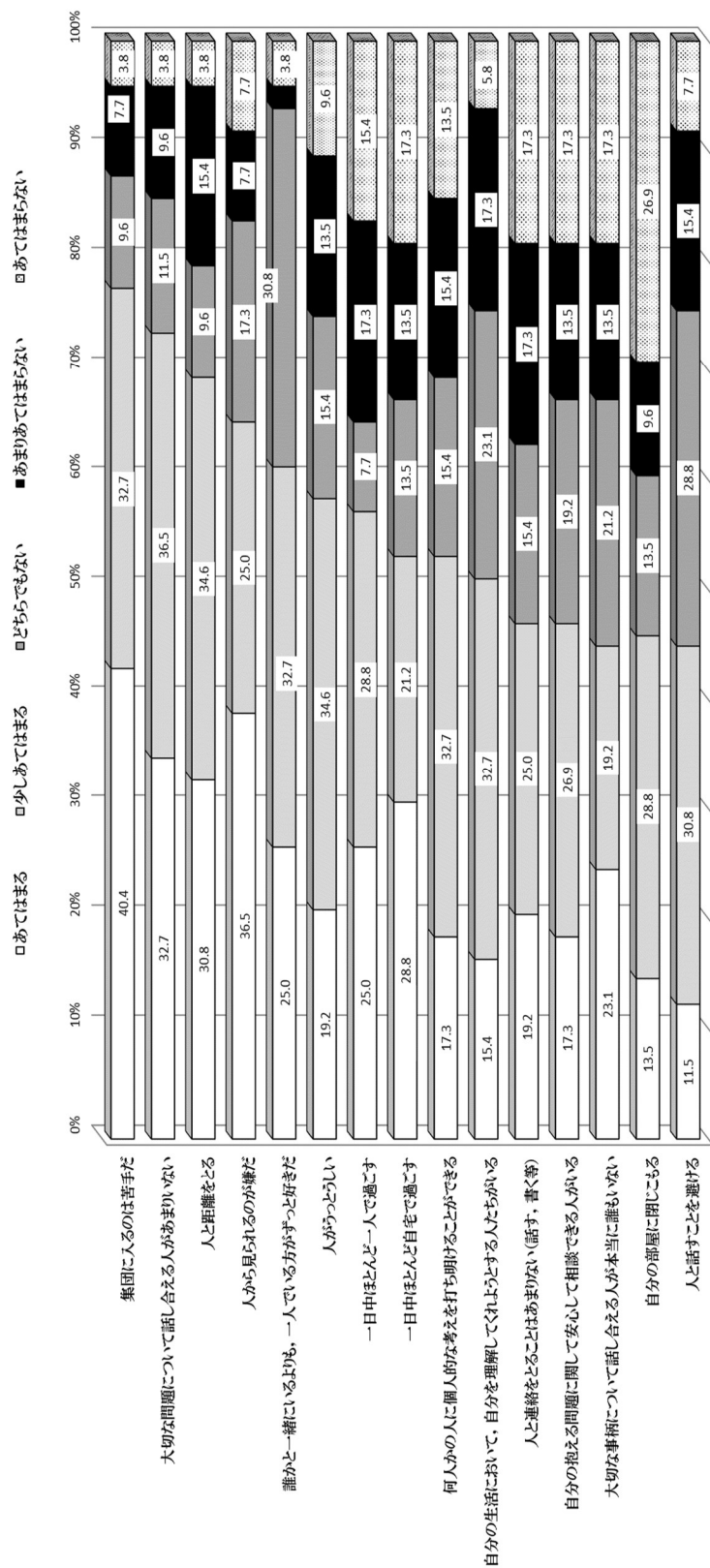


図1-23 最近6カ月間の様子(1)

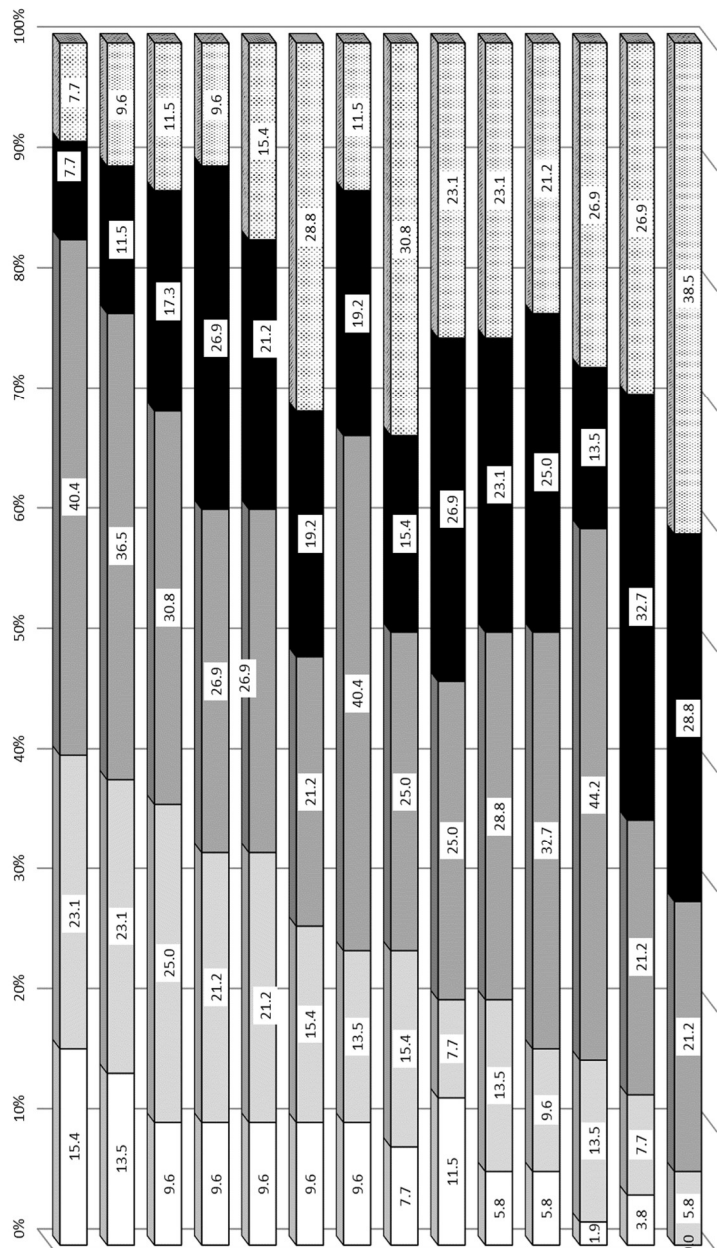


図1-24 最近6か月間の様子(2)

図1-23と図1-24に、本人回答者のここ6カ月間の様子について示しました。

「集団に入るのが苦手だ」(73.1%)、「大切な問題について話し合える人があまりいない」(69.2%)、「人と距離をとる」(65.4%)、「人から見られるのが嫌だ」(61.5%)、「誰かと一緒にいるよりも、一人の方がずっと好きだ」(57.7%)、「人がうっとうしい」(53.8%)、「一日中ほとんど一人で過ごす」(53.8%)、「一日中ほとんど自宅で過ごす」(50.0%)、「何人かの人に、個人的な考えを打ち明けることができる」(50.0%)、以上9項目のここ6カ月間の様子に関して、「あてはまる」もしくは「少しあてはまる」と回答した方が半数以上いることがわかりました。

一方、「一人で時間を過ごすことはめったにない」について、「あてはまる」と回答した方は一人もおらず、「少しあてはまる」と回答した方は5.8%と非常に低い値でした。

(8) ここ4週間の生活について

1. 学校について

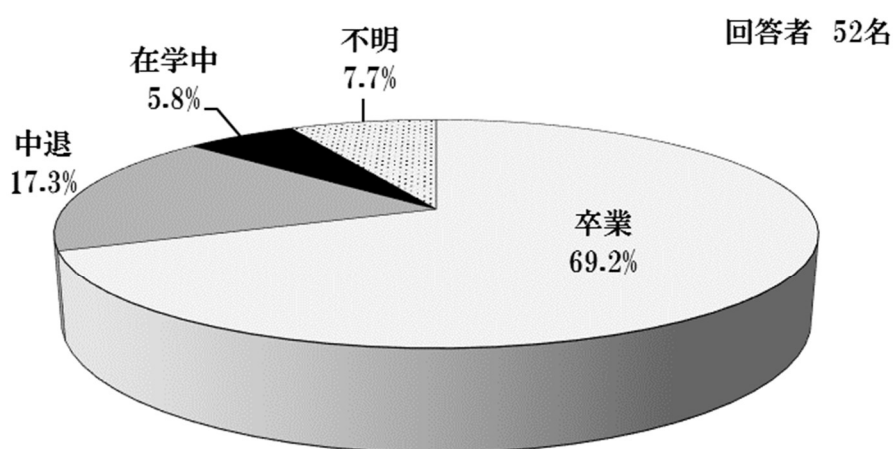


図1-25 学校について

図1-25に本人回答者が最後に行った学校について示しました。最後に行った学校を卒業したと回答した方がもっとも多く69.2%、中退したと回答した方が17.3%、在学中であると回答した方が5.8%でした。

さらに、「在学中である」と回答した方のうち、学校の登校日についても調査を行った結果、1週間あたりの登校日は「1日以下(月4回以下)」と回答した方が3名おり、それ以外の回答は得られませんでした。学校を休んだ日数についても尋ねましたが、回答者全員が「0日」と回答されました。

2. 仕事について

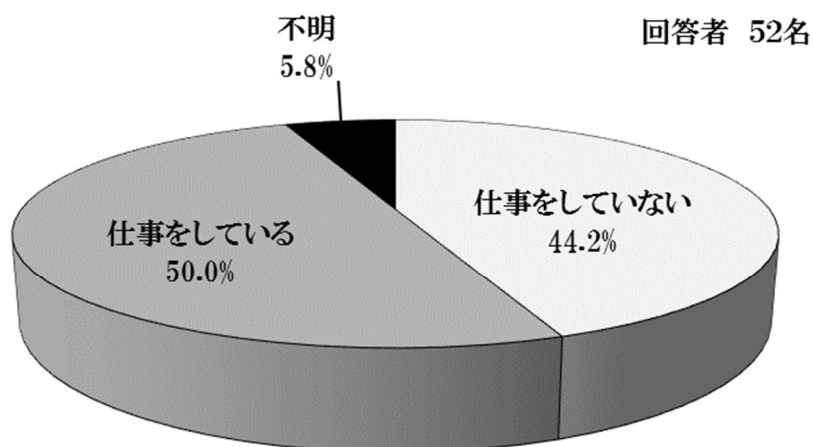


図1-26 仕事の有無

本人回答者が現在、仕事をしているかどうかについて図1-26に示しました。「仕事をしていない」と回答した方が44.2%（48.2%）、「仕事をしている」と回答した方が50.0%（44.7%）でした。不明は5.8%（7.1%）でした（カッコ内は昨年度の値）。

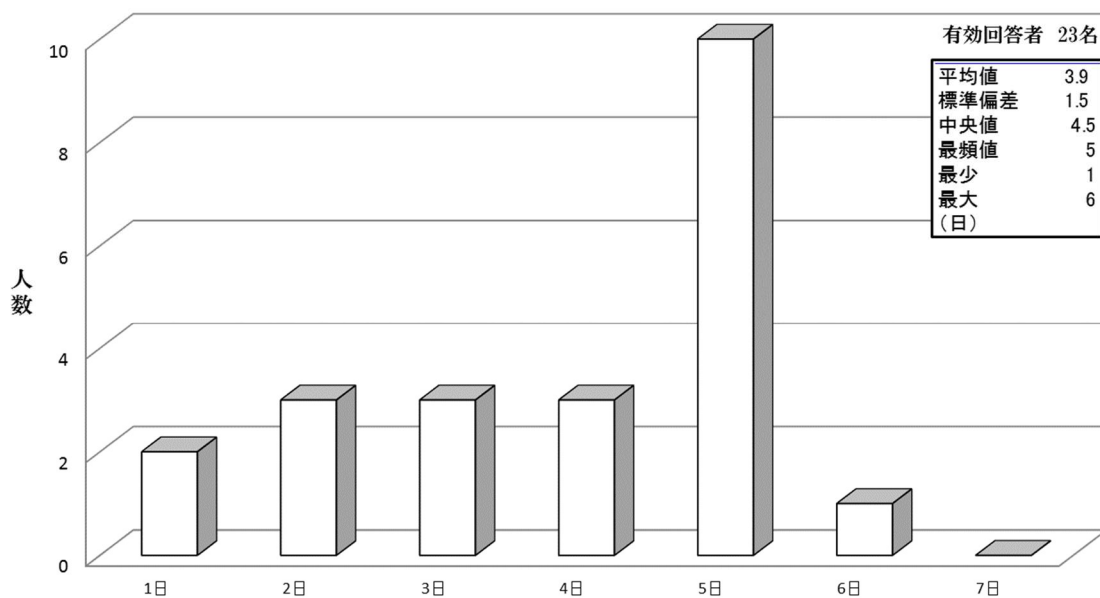


図1-27 労働日数

現在仕事をしていると回答した方に、1週間の労働日数についてお聞きしました。結果を図1-27に示しました。もっとも多く得られた回答は「週5日」で、平均すると週3.9日でした。

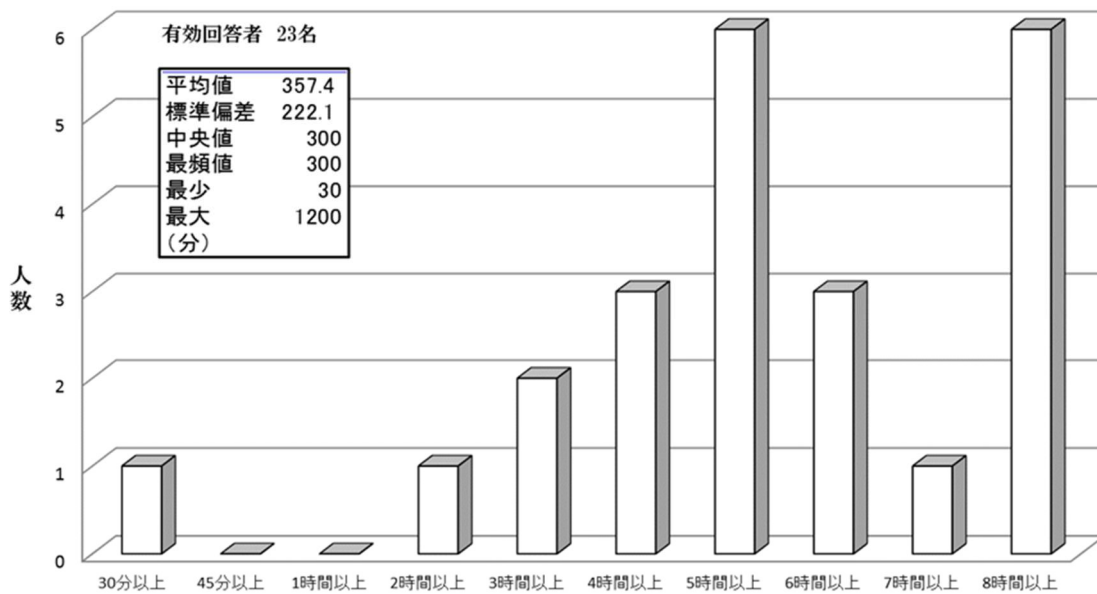


図1-28 労働時間

図1-28に1日の労働時間について示しました。もっとも多く得られた回答は「5時間」でした。平均は5.9時間でした。

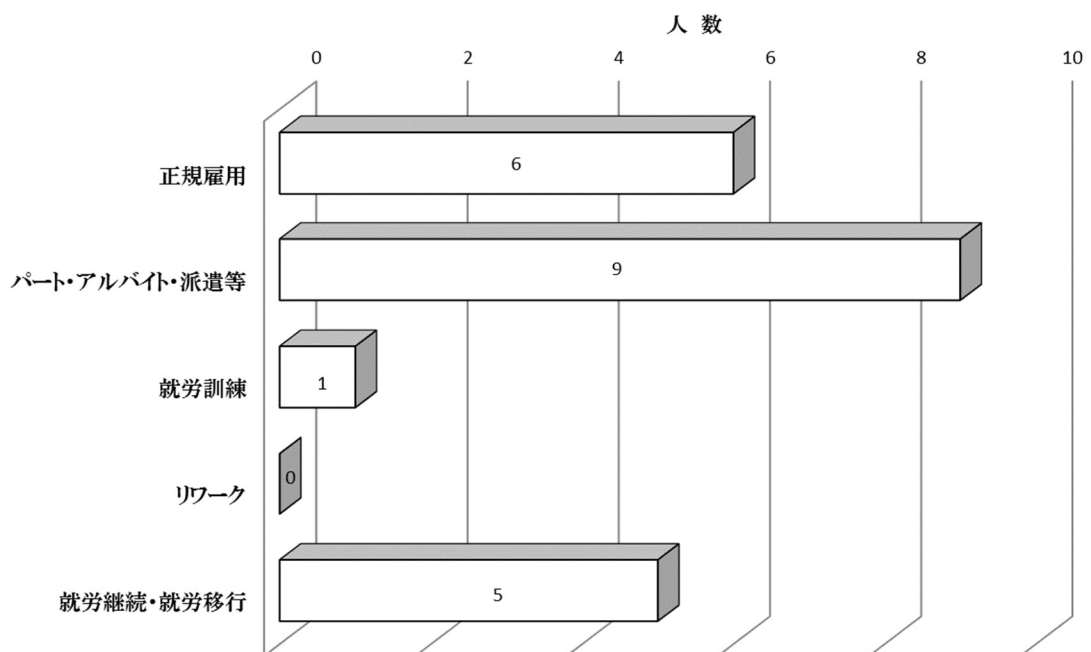


図1-29 就労形態

また、「現在仕事をしている」と回答した方に、それぞれの就労形態についても調査を行った結果を図1-29に示しました。「パート・アルバイト・派

遣等」をしていると回答した方がもっとも多く見られました。次に、「正規雇用」が多く、「就労継続・就労移行」をしていると回答した方も数名おりました。「リワーク」と回答した方はいませんでした。

3. 家事について

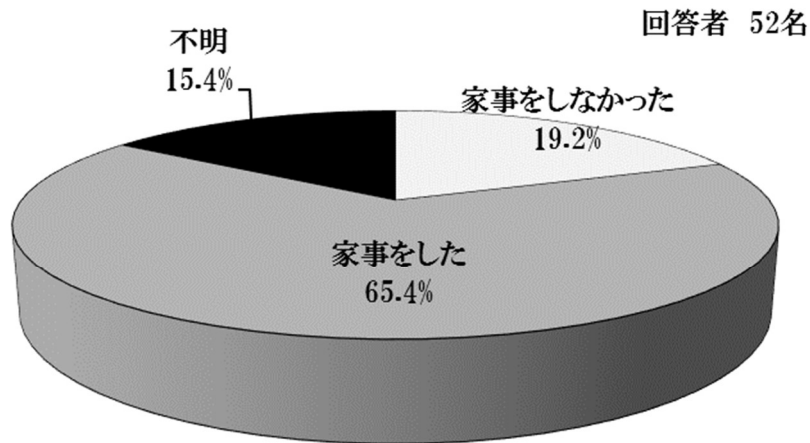


図1-30 家事について

本人回答者が、ここ4週間の間に家事をしたかどうかについて、図1-30に示しました。「家事をした」と回答した方が65.4% (71.8%) でした。「家事はしなかった」と回答した方が19.2% (21.2%) でした。不明が15.4% (7.1%) でした (カッコ内は昨年度の値)。

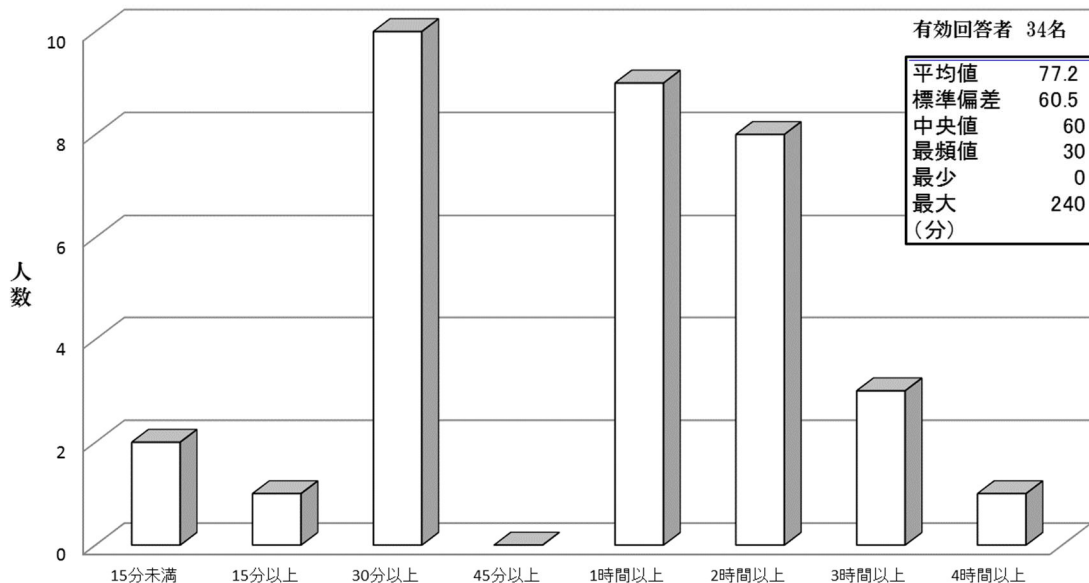


図1-31 家事の時間(平日)

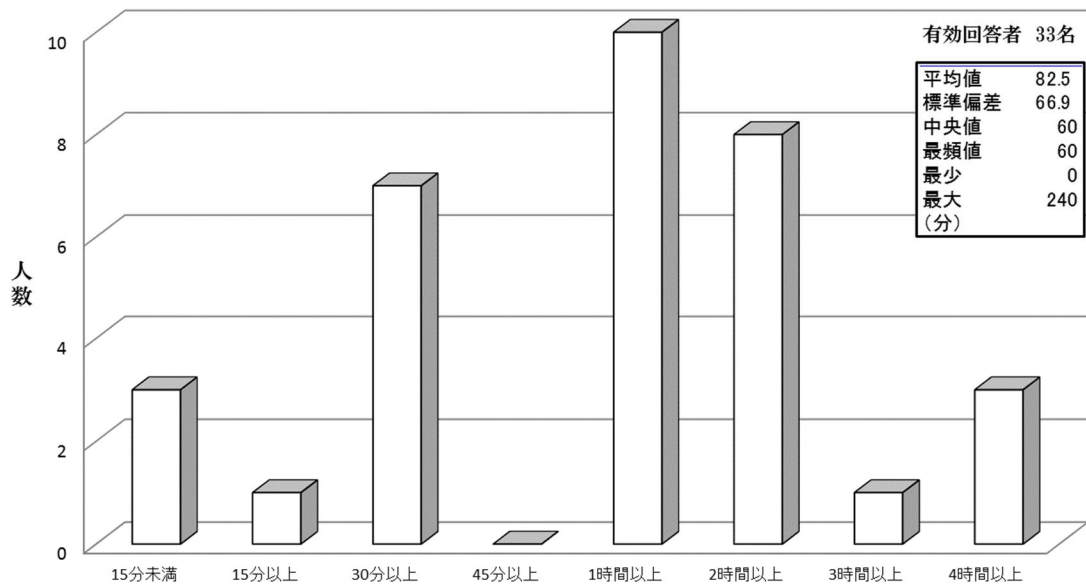


図1-32 家事の時間(休日)

「家事をした」と回答した方に、平日と休日それぞれの家事をした時間についてたずねました。図1-31のとおり平日は「30分以上」（1時間以上）と回答した方がもっとも多く、図1-32のとおり休日では「1時間以上」（1時間以上）と回答した方がもっとも多い結果となりました（カッコ内は昨年度の値）。

4. 育児や介護について

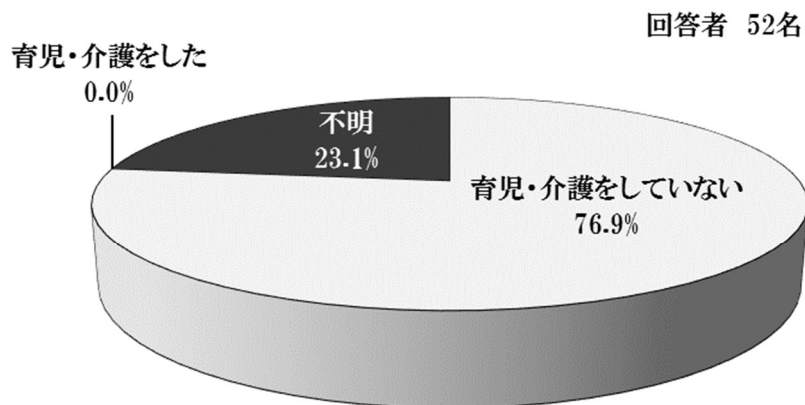


図1-33 育児・介護について

図1-33に、ここ4週間の間に育児や介護をしたかどうかについて示しました。「育児や介護をしなかった」と回答した方が76.9%（81.2%）と多く、「育児・介護をした」と回答した方は0%（5.9%）でした。不明が23.1%（12.9%）でした（カッコ内は昨年度の値）。

5. 親しい人との会話について

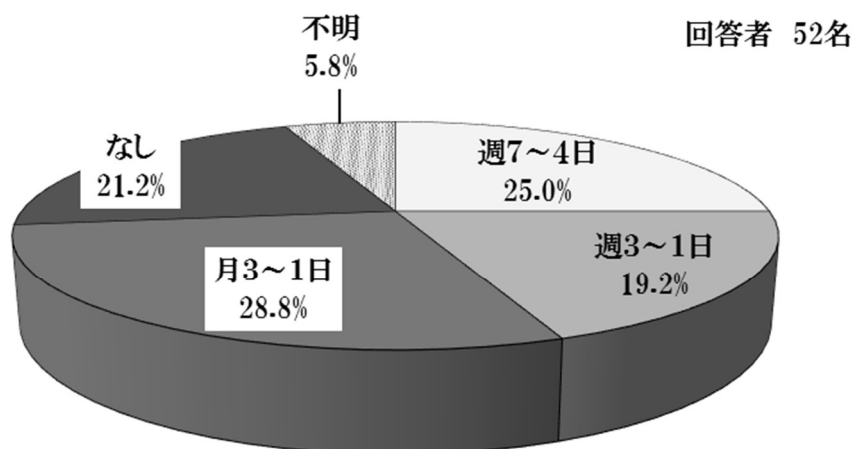


図1-34 親しい人との対面会話

ここ4週間の間に、本人回答者が親しい人との対面会話をどの程度したかについておたずねしました。図1-34のとおり、「月3~1日」と回答した方がもっとも多く28.8%でした。「週7~4日」と回答した方は25.0%、「この4週間にはなかった」と回答した方は21.2%、「週3~1日」と回答した方は19.2%、不明が5.8%でした。

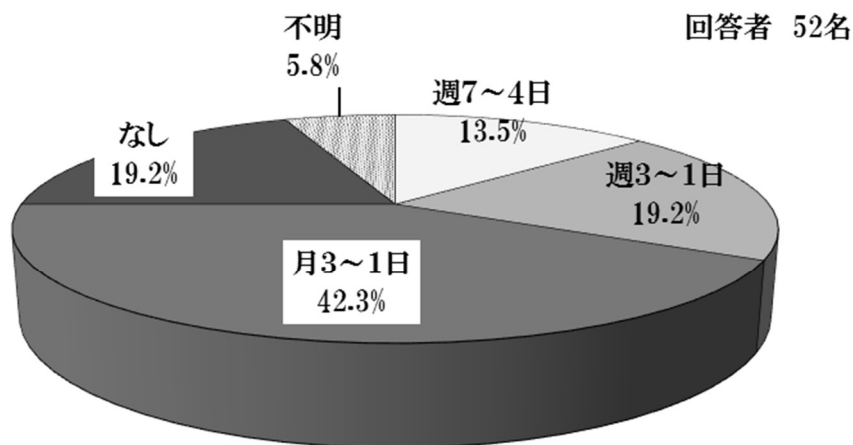


図1-35 親しい人との対面ではない会話

この4週間に、本人回答者が親しい人との対面ではない会話をどの程度したかについてもおたずねしました。図1-35のとおり、「月3~1日」と回答した方がもっとも多く42.3%でした。「週3~1日」および「この4週間にはなかった」と回答した方は同率で19.2%でした。「週7~4日」と回答した方が13.5%、不明が5.8%でした。

6. 親しくない人との会話

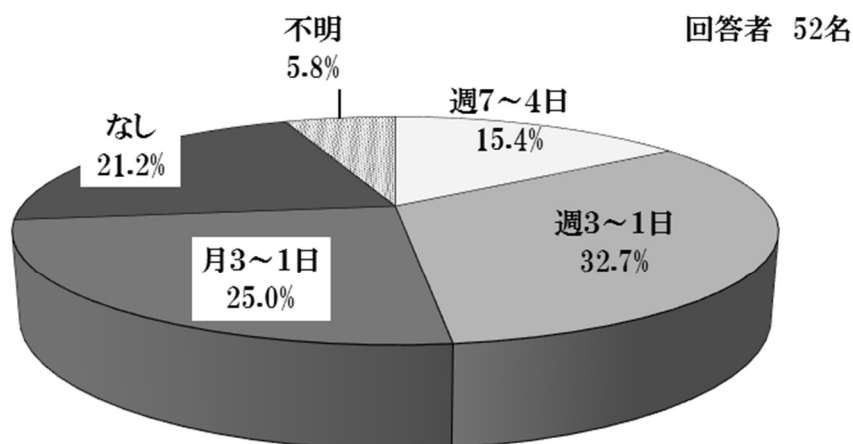


図1-36 親しくない人との会話

図1-36に、この4週間の中に、本人回答者が親しくない人との会話をどの程度したのかについて示しました。「週3~1日」と回答した方がもっとも多く32.7%でした。「月3~1日」と回答した方が25.0%、「この4週間にはなかった」と回答した方が21.2%、「週7~4日」と回答した方が15.4%、不明が5.8%でした。

7. 誰か（家族以外）との会話

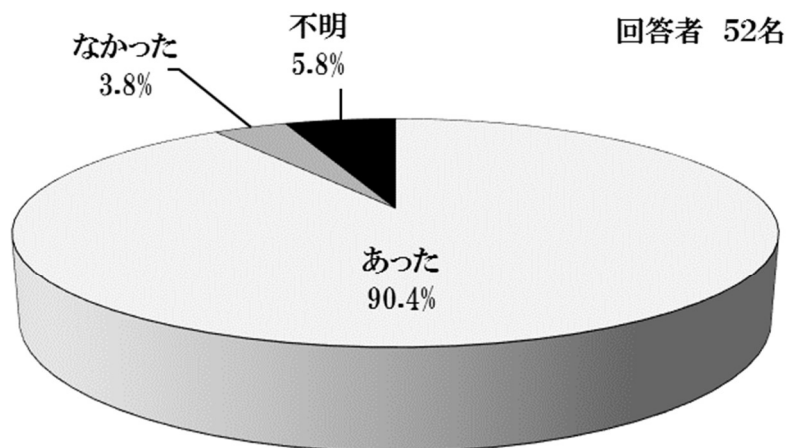


図1-37 誰かとの会話

この4週間に、本人回答者が家族以外の誰かとの会話があったかについておたずねしました。「あった」と回答した方がほとんどで90.4%でした。「家族を除いて、まったく誰とも会話をしなかった」と回答した方は3.8%でした。不明は5.8%でした。

8. 同居家族との不和について

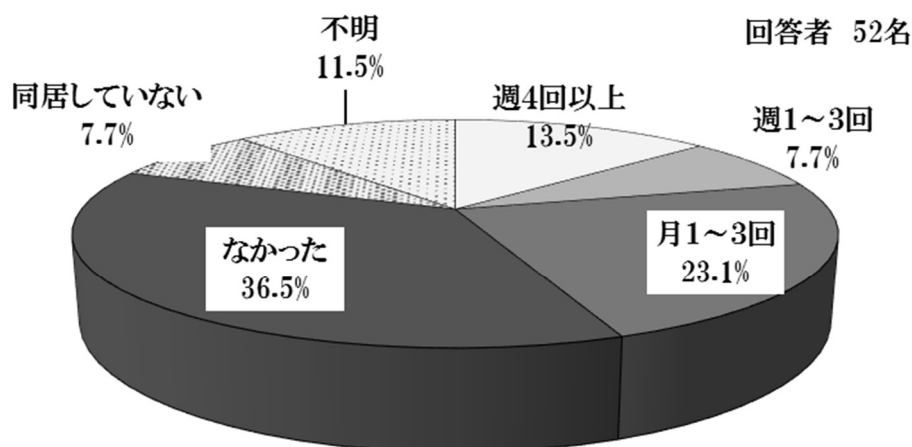


図1-38 同居家族との不和①

この4週間に同居する家族との間で、「意図的な無視」、「会話を避けること」、「継続的な対立」、「口論」が加害・被害を区別せずどの程度あったかについておたずねしました。

図1-38のとおり、「なかった」と回答した方がもっとも多く36.5%でした。「月1~3回」と回答した方が23.1%、「週4回以上」と回答した方が13.5%、「週1~3回」および「同居していない」と回答した方がどちらも7.7%でした。不明が11.5%でした。

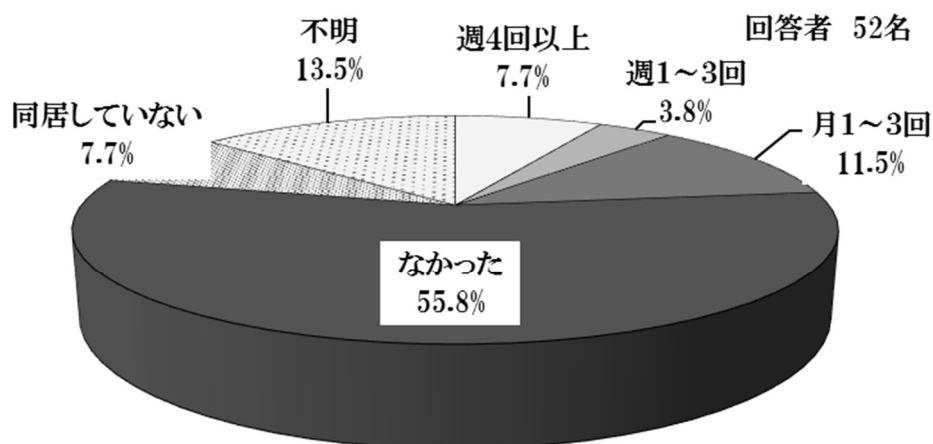


図1-39 同居家族との不和②

さらに、この4週間に同居する家族との間で、「暴言」、「かんしゃく」、「怪我のない程度の身体的暴力」が、加害・被害を区別せずどの程度あったかについてもおたずねしました。

図1-39のとおり、「なかった」と回答した方が半数以上を占め55.8%でした。「月1～3回」と回答した方が11.5%、「週4回以上」および「同居していない」と回答した方がどちらも7.7%、「週1～3回」と回答した方が3.8%、不明が13.5%でした。